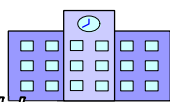




# きざき



さいたま市立木崎小学校

— 児童が目を輝かせて、  
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail [kizaki-e@saitama-city.ed.jp](mailto:kizaki-e@saitama-city.ed.jp)



## 距離走(競技)から、時間走(体づくり運動)へ

校長 豊島 登

パラパラ、バラバラッと、雨でもないのに体育館の屋根を騒がしく叩く音がします。何の音かな?と置いていたら、正門付近の掃き掃除をされていてわかりました。どんぐりです。私の頭に何度も落ちてきました。木崎小には、シンボルツリーとも言える大きなシラカシの木が、正門のわきと体育館の並びにそびえ立っています。小粒でたくさんの実がありますが、今年は例年よりも豊作のようです。

さて、先日の「持久走記録会」は、今年度より実施方法を大きく変更しました。これまでは決められた“距離”をどれだけで走れるかを計測してきました。つまり、陸上競技に近いものと考えてきた経緯があります。これを、決められた“時間”内にどれだけ距離を走れるかということにしました(低学年：3分間、中学年：4分間、高学年：5分間)。競技性よりも、自分の力に合わせて体力を高めるための運動であることを明確にしたいと考えたからです。学習指導要領で言うところの「体づくり運動」の位置付けです。

この変更によって、子どもたちは競走にこだわりすぎず、自分の記録への挑戦に集中することができたように感じました。200mのトラックをぐるぐる回るわけですが、10mおきにカラーコーンの目印を置いたので、次のコーンまで、さらに次のコーンまでと、目標が小刻みに設定できるようになったこともよかったと思いました。計時係の先生の「あと〇秒!」という声に反応して、もう一つ先までとラストスパートをかける子がたくさんいました。また、友達とペアになって記録の確認をし合っているので、認め合いや励まし合いも自然とできていました。さらに、運営する教員にとっても、着順判定などの仕事に追われずにすむので、子どもたちの様子をしっかりと観察することができました。

つらくてきつい持久走ではなく、がんばることで目標達成の喜びを味わえる持久走であれば、きっと走ることの楽しさに触れられるのではないかと思います。

秋が足早に去って、寒さの厳しい冬がやってきました。健康に十分留意して、2学期、そして1年を締めくくりましょう。

---

大阪市で小学6年生の女児が行方不明となり、遠く離れた栃木県で保護されたという事件がありました。この事件のきっかけはSNSです。SNSは、親の目の届かないところで、見知らぬ人と簡単に接点をもててしまう危険性があります。また、友達との間でも安易に悪口を書き込んだり、無視をしたりするなど、いじめに発展することも多くあります。この機会に、パソコン、スマートフォン、ゲーム機などネットワークに接続できる機器の使い方について、ご家庭で再確認をお願いします。子どもが被害者にも加害者にもならないよう見守っていきましょう。